

忘れず

がん検診は、自覚症状のない健康な人が対象です。
あなたの健康を守る第一歩、
がん検診を受けましょう！

✓ が ん 検 診

が ん 検 診



埼玉県マスコット
コバトン&さいたまっち

チ エ ツ ク

がん検診の申込み・問い合わせは
お住まいの市町村がん検診担当窓口まで



市町村のがん検診
窓口一覧はこちら

国が推奨するがん検診は次の5種類です

次のがん検診は、死亡率を減少させることが科学的に証明された有効な検診です。

受診後は検診結果を確認し、要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受けましょう。

※令和7年12月時点のがん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針から作成

☑️ 肺がん検診 (肺のX線検査)

罹患する人は40歳代以降に多く、がんによる死亡原因の上位に位置しています。

※特に喫煙者は非喫煙者と比べて男性は約4倍、女性は約3倍肺がんになりやすく、受動喫煙も肺がんのリスクを2~3割程度高めます。

40歳以上の方は
毎年受診

☑️ 大腸がん検診 (便潜血検査)

罹患する人は40歳代以降に多く、がんによる死亡原因の上位に位置しています。

40歳以上の方は
毎年受診

☑️ 胃がん検診 (胃のX線検査又は胃内視鏡検査)

罹患する人は50歳代以降に多く、がんによる死亡原因の上位に位置しています。

50歳以上の方は
2年に1度受診

☑️ 乳がん検診 (マンモグラフィ検査)

40歳以上の女性では、最も罹患する人が多いがんであり、がんによる死亡原因の上位に位置しています。

40歳以上の方は
2年に1度受診

☑️ 子宮頸がん検診 (子宮頸部の細胞診*1又はHPV検査単独法*2)

女性では、罹患する人が多いがんです。

20歳代後半から増加しはじめ、特に30~50歳代で多くなります。

*2 HPV検査単独法は一部の自治体で実施しています。詳しくは、お住まいの市町村のがん検診担当窓口にお尋ねください。

20歳以上の方は
2年に1度受診*1

Q. がん検診はどこで受けられるの？

A. 市町村から委託を受けた医療機関などで受けることができます。検診の対象となる年齢や実施時期、検査を行う場所、費用負担は、自治体によって異なります。詳細はお住まいの市町村のがん検診担当窓口にお尋ねください。



市町村のがん検診窓口
一覧はこちら



がんについて詳しく
知りたい方はこちら
(がん情報サービス)

